

当社グループの対処すべき課題

長期ビジョン

事業を取り巻く環境

- 地政学的リスクの高まり
- 中東情勢の緊迫化による原油価格の高騰やサプライチェーンへの影響

長期ビジョン

TDK Transformation

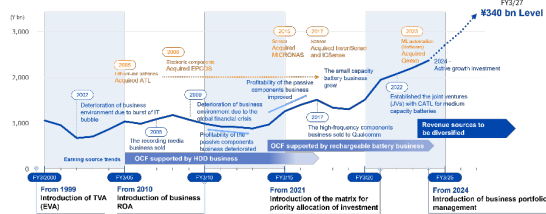
Accelerating transformation for a sustainable future

- **独自の材料・プロセス・ソフトウェア**を組み合わせた電子デバイスで、**テクノロジーの進化と社会の変革を加速し**、サステナブルな未来の実現に貢献します。
- **自己を変革し続け**、世界のお客様と共に成長する**No.1 パートナー**になります。



中期経営計画のポイントの進捗

1 キャッシュ・フロー経営の強化

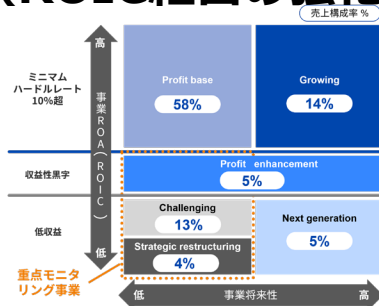


FCF重視経営の加速

2026年3月期実績

フリーキャッシュフローは
期初予想700億円から
1,299億円へ拡大

2 事業ポートフォリオ マネジメントの強化 (ROIC経営の強化)



資本収益性改善へ向けて

成長戦略の推進

- AIエコシステムへの貢献:
→次スライド以降で説明
- 重点モニタリング事業
- 2事業:黒字化を達成
- 13事業:収益化への道筋を明確に
- 9事業:事業譲渡等を実施
→収益性改善が進捗

3 フェライトツリーの進化 (未財務資本の強化)



未財務資本強化に向けた継続的取り組み

人的資本の強化

- エンゲージメント向上に向けた活動の推進

技術力の強化

- アナログリザーバAIチップ等技術開発の進展
- ポルシェ モータースポーツと技術提携を締結
- ソフトウェア関連ビジネスの強化(SensEI / SoftEye)

サステナビリティ活動やDXの取り組み強化

- 世界的なESG評価機関 (FTSE) より
過去最高となる4.8 (5点満点) を獲得
- SX銘柄に2年連続選定
- DX銘柄に初選定

AIエコシステム全体に貢献し、成長を目指します



○ 受動部品
 ○ センサ応用製品
 ○ 磁気応用製品
 ○ エナジー応用製品
 ○ 新製品

AIエコシステム全体に向けて売上を伸ばします

AIエコシステム向け売上高（26.3実績・31.3目標）

年率換算成長率
約25~30%

前期比
25%



センサ+新事業
半導体製造装置

エネルギー応用製品
・中型二次電池

現有製品
・受動部品
・ヘッド・サスペンション

※ 全社売上高（約2.5兆）の1割強程度が、AIエコシステム向け

“未財務資本”を強化します（フェライトツリーの進化）

独自の
企業文化

TDK
Venture Spirit

多様性の尊重
TDK United

機能対等



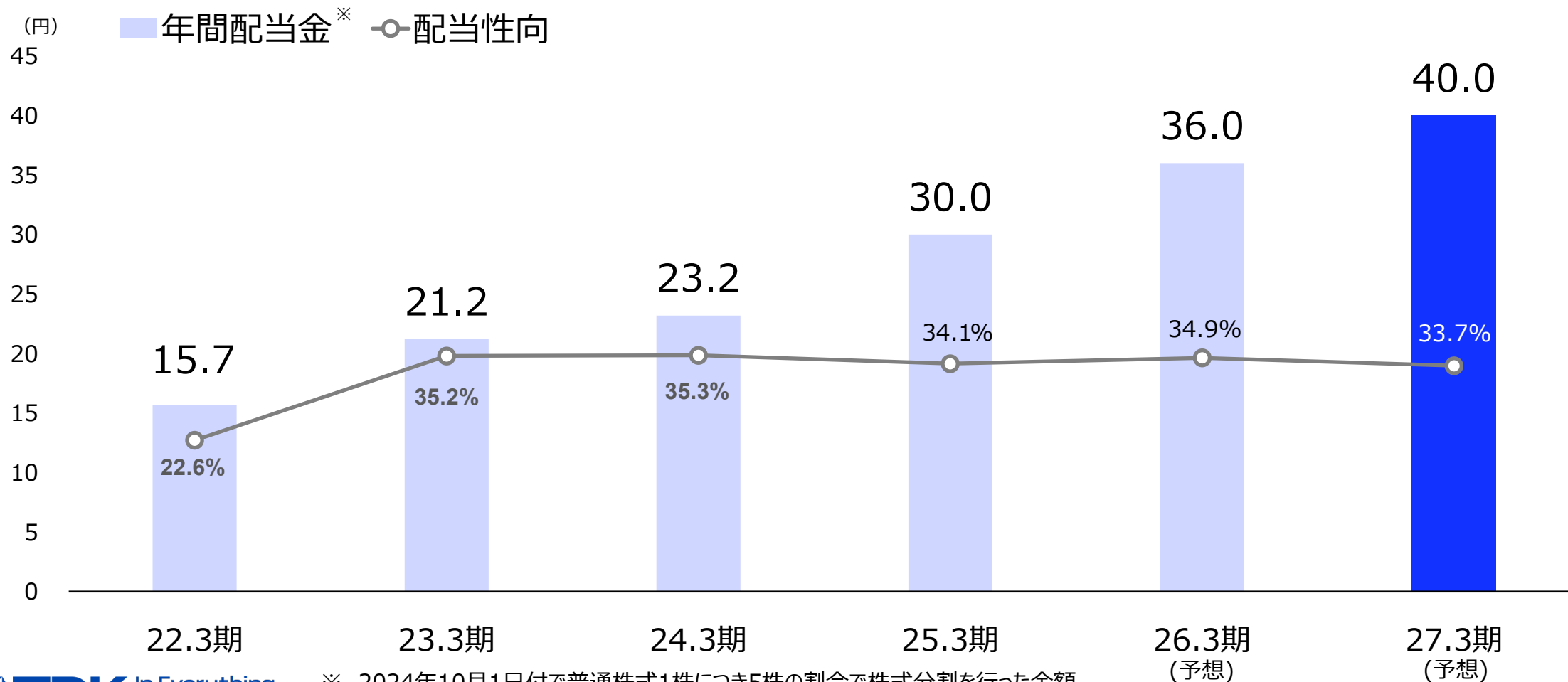
2027年3月期 連結業績見通し

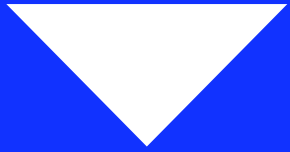
- ▶ データセンター向けニアライン用HDDやAIデータセンター関連市場の堅調な需要を見込む
- ▶ **売上高及び各利益で3期連続で過去最高を更新する計画**

(億円)	2026年3月期 通期実績	2027年3月期 通期予想	前期比	
			増減	増減率
売上高	25,048	25,800	+752	+3.0%
営業利益	2,724	2,950	+226	+8.3%
当期利益	1,957	2,250	+293	+15.0%
1株当たり当期利益(円)	103.09	118.54	-	-
対ドル為替レート (円)	150.76	150.00	-	-
対ユーロ為替レート (円)	174.76	175.00	-	-

2027年3月期 年間配当金見通し

- ▶ 今中期経営計画期間においては、配当性向35%を目安として株主還元を行う方針
- ▶ 2026年3月期の年間配当金は、期初計画よりも上方修正（30円→36円/株）
- ▶ 2027年3月期は、40円/株を計画





株主の皆様のご支援を賜りますよう
よろしくお願ひ申し上げます